

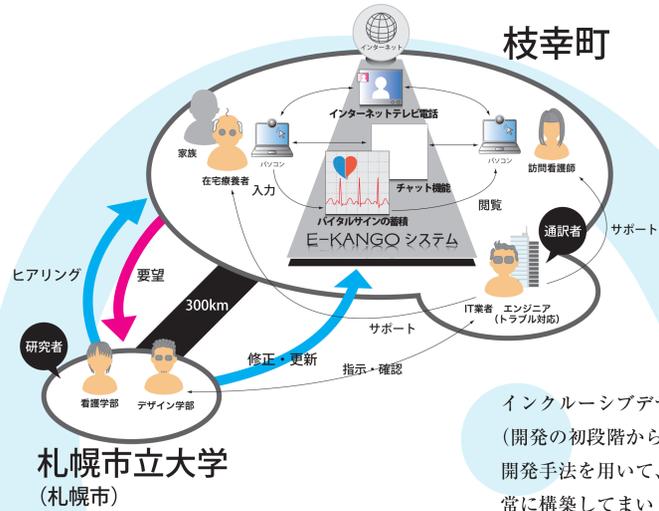


スーディ・神崎 和代 先生

いわき明星大学 看護学部 教授
札幌市立大学 名誉教授

世帯構成や生活の場に拘わらず、 (自然環境・距離・人口・地域財政など) 質が担保されたケアを提供する体制が (医療・看護・介護) 今の日本には必要です。

広域積雪地域である北海道では、厳しい自然環境に加えて乏しい公共交通システム、訪問看護事業所（病院）や行政機関（保健福祉センターなど）と在宅療養者・外来患者の間の遠距離等の課題があり、これらが都市部と同じような医療サービスの授受を困難にしている現実を緩和すべく2009年からICTを活用した検証研究を重ねて参りました。



インクルーシブデザインの
(開発の初段階から利用者が関わる)
開発手法を用いて、利用者の視点で
常に構築してまいりました。

システム開発の歩み



「看護とデザインの連携」
から生まれたシステムです